分収林事業改正点

資料２

１．公益社団法人新潟県農林公社造林事業請負作業標準仕様書の改正

・以前より様々なご意見をいただいていた公益社団法人新潟県農林公社造林事業請負作業標準仕様書について改正を行いました。

（公益社団法人新潟県農林公社造林事業請負作業標準仕様書は公社ホームページに掲載しています）

主な改正点

伐木に伴う刈払い（第３　保育・間伐事業　7項関係）

・以前より様々なご意見をいただいていた高木性広葉樹の残置について、県等の仕様を参考に明確化しました。

(1)伐木に伴う刈払いは、間伐等の準備工であることを踏まえ、その工種自体が目的ではないことを十分把握し、作業にあたること。なお、自生している高木性広葉樹は伐木施業の支障とならないものについては残置させること。

（略）

（5）残置する高木性広葉樹は、次に掲げる樹種とする。

ブナ、コナラ、ミズナラ、ホオノキ、イタヤカエデ、キハダ、クリ、ケヤキ、トチノキ、ハリギリ、シナノキ、オオバボダイジュ、ミズキ、コシアブラ、アカシデ、ヤマザクラ、クヌギ、ヤマハンノキ、サワグルミ、オニグルミ、カツラ等

２．公益社団法人新潟県農林公社請負条項の改正（第11条関係）

１　請負契約締結の日から12月を経過した日後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により請負金額が不適当となったと認めたときは、相手方に対して請負金額の変更を請求することができる。

（略）

５　予期することができない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、請負金額が著しく不適当と認めたときは、甲又は乙は、前各項の規定にかかわらず、請負金額の変更を請求することができる。

例： H8～10植栽の利用間伐を2年間契約（＝早期発注にて令和6年度に契約）

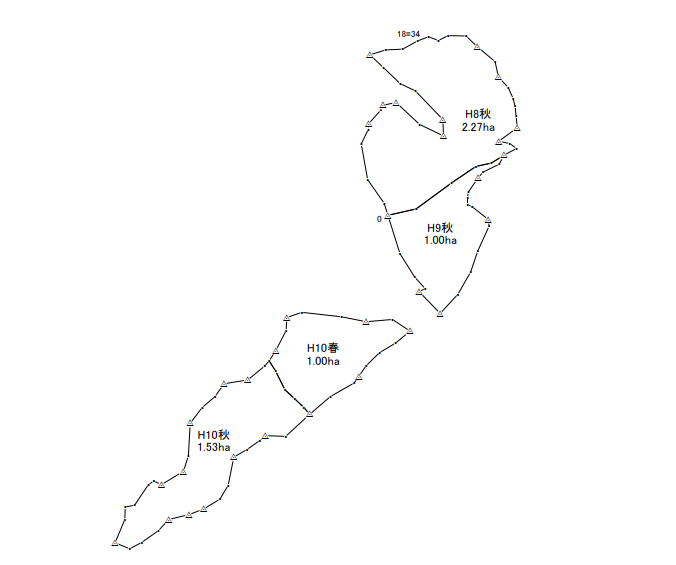
　令和7年度中にH8～9植栽の利用間伐、令和8年度はH10植栽の利用間伐を行う予定である

令和7年度実施分

H8～9植栽

刈払い・伐倒・造材・搬出

→令和7年度単価で契約変更・精算（一部履行）※



令和8年度実施分

H10植栽

刈払い・伐倒・造材・搬出

→R8年度単価に変更請求可能

※工期内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、請負金額が著しく不適当と認めたときは単価の変更請求が可能

　ただし、残工事期間が2か月以上必要。

また受注者の責めに帰すべき事由により遅延していると認められるものは対象外とする